

事後評価概要資料

番号	3001	担当名 公園スタジアム課																								
事業名	都市公園事業	事業主体	埼玉県																							
施設名	まつぶし緑の丘公園	事業箇所	北葛飾郡松伏町																							
事業完了年	平成27年度	事業完了後の経過年数	7年																							
事業概要	目的	<p>◆県南東部、松伏町の北部に位置し、南側を県道春日部松伏線、北部を県道野田岩槻線に接している。</p> <p>◆里山、広場、水辺からなる原風景を創出し、樹林や野鳥、草花、昆虫等とのふれあいを通じ、公園利用者が心も体も元気になることを目指して計画</p> <p>◆中川と大落古利根川に挟まれた平坦な区域に、地域のランドマークとなる緑豊かな丘を築くなど、「人と環境にやさしい都市公園」として整備</p>																								
	必要性	<p>◆埼玉県南東部の県民の余暇・レクリエーション活動の拠点となる都市公園（公園種別：総合公園）</p> <p>◆災害時の対応上も重要な公園</p> <p>◇松伏町地域防災計画：指定緊急避難場所、自衛隊災害派遣時の宿舎・資材置場、駐車場及び消防の応援隊の受け入れ場所</p> <p>◇埼玉県地域防災計画：防災活動拠点</p> <p>◇内閣府：災害応急対策活動拠点に指定</p>																								
	効果	<p>◆芝生広場面積3.4haや里山、水辺など26.5haに及ぶ都市公園の整備、トンボ池づくり活動を通じて、29種の野鳥が観察できる自然的な環境を創出</p> <p>◆各種イベント等が展開され、行為許可参加人数は年間11,000人程度、有料施設利用者は年間20,000人程度にのぼる。</p> <p>◆公園整備と合わせて県道改良、周辺地域の洪水調整を担う調節池、防災施設機能を整備</p> <p>◆日常のレクリエーション活動の場としての利用とともに、災害時の避難、防災活動の拠点として、地域における安全・安心な生活の一翼を担う施設となっている。</p>																								
	事業内容	<table border="1"> <tr> <td>総事業費</td> <td>11,528.1百万円（税抜）</td> <td>事業期間</td> <td>平成10年度～平成27年度（18年間）</td> </tr> <tr> <td colspan="4">都市計画公園（平成10年11月都市計画決定、種別：総合公園）、面積26.5ha</td> </tr> <tr> <td>ゾーン（面積）</td> <td>テーマ</td> <td colspan="2">施設</td> </tr> <tr> <td>里山ゾーン（7.0ha）</td> <td>建設発生土の活用で築く緑豊かな丘</td> <td colspan="2">雑木林、常緑樹、散策園路、展望広場等</td> </tr> <tr> <td>広場ゾーン（6.5ha）</td> <td>子供の遊びゾーンを含む芝生広場や野原</td> <td colspan="2">疎林広場、芝生広場、野原等</td> </tr> <tr> <td>水辺ゾーン（13.0ha）</td> <td>野鳥の水辺やトンボ池</td> <td colspan="2">野鳥の水辺、トンボ池、木道等</td> </tr> </table>	総事業費	11,528.1百万円（税抜）	事業期間	平成10年度～平成27年度（18年間）	都市計画公園（平成10年11月都市計画決定、種別：総合公園）、面積26.5ha				ゾーン（面積）	テーマ	施設		里山ゾーン（7.0ha）	建設発生土の活用で築く緑豊かな丘	雑木林、常緑樹、散策園路、展望広場等		広場ゾーン（6.5ha）	子供の遊びゾーンを含む芝生広場や野原	疎林広場、芝生広場、野原等		水辺ゾーン（13.0ha）	野鳥の水辺やトンボ池	野鳥の水辺、トンボ池、木道等	
総事業費	11,528.1百万円（税抜）	事業期間	平成10年度～平成27年度（18年間）																							
都市計画公園（平成10年11月都市計画決定、種別：総合公園）、面積26.5ha																										
ゾーン（面積）	テーマ	施設																								
里山ゾーン（7.0ha）	建設発生土の活用で築く緑豊かな丘	雑木林、常緑樹、散策園路、展望広場等																								
広場ゾーン（6.5ha）	子供の遊びゾーンを含む芝生広場や野原	疎林広場、芝生広場、野原等																								
水辺ゾーン（13.0ha）	野鳥の水辺やトンボ池	野鳥の水辺、トンボ池、木道等																								

事業概要図



平面図

事後評価項目

事業の効果の発現状況

◆H26再評価時に比べ、総便益は39.7%増加し、費用便益比も9.5%拡大している。

	H26再評価時	今回事後評価時	増減
公園需要推計値 (H28)	80.19万人	81.46万人	1.6%増
総便益	747.24億円	1,044.21億円	39.7%増
総費用	191.54億円	244.46億円	27.6%増
費用便益比 (B/C)	3.90	4.27	9.5%増

※事後評価は、「改訂第4版大規模公園費用対効果分析手法マニュアル (H30一部改訂)」に従い、GDPデフレーターによる物価補正を行っている。

◆地域の活性化

◇令和3年度の行為許可件数は61件、参加人数11,024人：防災訓練の他に、地域行事や運動・健康に係る講習、カフェ、マルシェ、物販、盆栽・菊花展、お月見、ホテル観賞などの行事の他、家族の写真撮影などにも活用

◇土日を中心にケータリングカーの出店を促進し、利用者の利便向上に努め、さらには、バーベキューサイトが開設されているなど、地域の活性化に貢献

◆自然再生への貢献

◇都市基盤整備に伴う建設発生土を活用しながら、地域のランドマークとなる緑豊かな小高い丘を築くとともに、ビオトープ型の池を整備するなど、自然再生の取組を含めた環境に優しい公園として整備

◇水辺ゾーンでは、トンボ池づくり活動のほか、水辺の除草について池に生息する水生生物や水鳥、景観に配慮した管理を行うなどの維持管理活動を通じて、豊かな動植物の生息域となっており、公園で観察できるキジ、オオタカ、ツバメ等29種の野鳥一覧を作成・公表

◇日本野鳥の会埼玉支部による探鳥会の開催を通じて、自然に親しむ親子イベントを開催し、自然環境の保全に対する意識の醸成に努めており、自然再生等に貢献

◆防災機能の向上

◇町・県・国による防災関連の位置づけを踏まえ、松伏町防災訓練、広域災害訓練、第4ブロック緊急消防援助隊合同訓練が行われており、地域の防災機能の向上と訓練空間の提供に貢献

事後評価 項目 続き	効果分析 の要因の 変化	再評価時（平成26年度）との比較等 ・競合公園の変化： H30.4.1羽生水郷公園の16.6ha拡大供用 R3.10.1春日部夢の森公園の7.9ha部分供用開始 R4.10.16権現堂公園の11.3ha拡大供用 H29.4.3柴山沼の12.76haの開設（白岡市） など					
			H26再評価時		今回事後評価時		増減
		誘致距離	20.00Km		20.00Km		0.0%
		誘致圏人口(H32推計、R2国調)	213.40万人		227.27万人		6.5%増
		用地費	79.85億円		79.85億円		0.0%
		施設費	35.43億円		35.43億円		0.0%
		事業費計	115.28億円		115.28億円		0.0%
	維持管理費	56.60百万円/年		69.10百万円/年		22.1%増	
	事業実施 による副 次的効果	令和元年度の3月中旬以降コロナ対策のための利用休止などがあり、施設利用人数は低迷しているが、それ以前は2万人/年近い利用が見られている。					
		施設利用人数（人）	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
レクチャーホール		5,874	6,783	6,238	5,179	1,749	2,171
サークル室		6,324	12,958	13,614	9,782	733	1,579
	合計	12,198	19,741	19,852	14,961	2,482	3,750
評価結果及び対応方針	<p>◆評価結果</p> <p>本公園の整備により、地域の余暇・レクリエーション活動の拠点が創出され、有料施設は有効な利用が図られており、各種イベントの開催等を通じて地域の活性化にも貢献している。調整池の配置、防災関連施設の整備・位置づけを踏まえた災害訓練の実施などを通じて、地域の防災機能の向上しており、自然再生の取組みを通じた多数の野鳥の生息も見られるなど、事業効果は確実に発現している。</p> <p>◆対応方針</p> <p>事業効果は発現しており、事業の有効性が確認されていることから、再度事業評価を行う必要はない。</p>						
	特記事項	なし					